

平成 28 年度

事業報告書

社会福祉法人 都島友の会

〒 534-0021 大阪市都島区都島本通 3-4-3

事業報告の内容を補足する重要事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していません。

平成 28 年度事業報告書(目次)

I	平成 28 年度本部事業報告	1
II	事業の内訳	7
III	事業別報告	
	1. 第一種社会福祉事業	
	(1)老人福祉施設 《特別養護老人ホームひまわりの郷》	8
	2. 第二種社会福祉事業	
	(1)児童館 《都島児童館》	10
	(2)認定こども園・保育所	12
	(3)子育て支援事業	20
	(4)児童発達支援センター	
	《こども発達サポートステーションそれいゆ》	22
	(5)児童発達支援・放課後等デイサービス	
	《都島児童デイサービス》	24
	(6)老人福祉施設 《友渕地域在宅ステーションひまわり》	25
	(デイサービス・総合相談窓口)	
	(7)老人福祉施設 《特別養護老人ホームひまわりの郷》	27
	(短期入所生活介護・社会貢献)	
	3. 公益事業	
	(1)居宅介護支援事業	28
	(2)ひまわりⅡ	29
	(3)比嘉正子地域貢献事業研修センター	30
	4. 収益事業	
	(1)賃貸アパート(あやなす荘)	31
	(2)賃貸ビル(福祉ビル)	31
	5. 研修報告	
	人権研修、役員研修、外部研修、法人内研修	32

I 平成 28 年度本部事業報告

○法人創立 85 周年記念行事

法人の歴史を振り返るとともに、地域貢献事業等、当法人が担ってきた諸事業・成果等を、地域及び保護者に紹介する「85 周年記念発表会」を、平成 28 年 6 月 11 日、都島区民センターホールで開催、延約 500 名が参加し、法人への理解を深めていただいた。また 6 月 7 日に都島中央公園グラウンドで開催した「みやっこまつり 85th」には、園児・地域から約 1250 名が参加した。

○社会福祉法改正関連

平成 28 年 11 月 30 日開催の理事会で承認された新定款は、平成 29 年 12 月 22 日に変更申請し、平成 29 年 2 月 6 日付で大阪府より認可。この新定款に基づく評議員選任・解任委員会を平成 29 年 3 月 15 日に開催し、4 月 1 日に就任する新評議員 8 名を選任した。その他、改正社会福祉法の施行に伴い、定款細則・経理規程等を整備した。

○高齢者施設会計事務を本部に一元化

本部会計事務と統一した会計事務を実施するため、高齢者施設担当を本部事務局に設置し、会計事務を一元化した。

○都島桜宮保育園分園開設 本園改修増築

待機児解消のため、入園希望者が多い都島桜宮保育園の分園(定員 25 名)を平成 29 年 1 月 1 日に開設。併せて大阪市整備補助金を活用し、平成 30 年 4 月 1 日開設予定で、現在の認可定員を 51 人増員する本園の改修増築に着手した。

○地域子育て支援拠点事業「フレンドリー せいいく」を開設

地域子育て支援拠点事業として、幼保連携型認定こども園成育児童センターが大阪市より委託を受け、平成 28 年 10 月 1 日、フレンドリーせいいくを開設し、子育て親子の交流の場の提供、相談や援助等を行っている。

○児童デイサービスの開設

療育を必要とする児童の増加、こども発達サポートステーションそれいゆを利用された小学生に対し放課後の療育のため、平成 29 年 3 月 1 日、城東区

に児童デイサービスせいいくを開設、また平成 29 年 4 月 1 日に都島児童デイサービスを「あっぷる」「れいんぼー」に分離し 3 事業所体制とした。

○施設整備(高齢者施設)

特養ひまわりの郷の空調設備を、環境省の平成 28 年度 CO2 排出抑制対策事業補助金約 1,800 万円を活用し更新した。また、開設以来 17 年を経過したデイサービスひまわりは、創立 85 周年事業として、設備の充実と良好な環境づくりのため、1・2 階を大規模リニューアルし、利用スペースの拡大を図った。

○人材確保と保育士の処遇改善

採用事務は、保育士・介護士養成校への訪問、就職フェアへの参加の他、新たに求人サイトの活用、就活学生向けガイドブックへの記事掲載等、学生へのリクルート活動に努めた。また保育士処遇については、平成 29 年 4 月に、若年層に配慮した給与表の改正、処遇改善手当の増額を図るとともに、管理職手当の改正、副主任手当・リーダー手当を創設した。

○理事会 評議員会

平成 28 年 5 月 26 日 7 月 8 日 9 月 20 日 11 月 30 日
平成 29 年 2 月 22 日 3 月 30 日
議案は別紙のとおり

○評議員選任・解任委員会

平成 29 年 3 月 15 日開催
平成 29 年 4 月 1 日に就任する新評議員 8 名を選任

○経営会議 施設長会 園長会 主任会

・毎月 1 回開催

○法人部会

・法人内部会

法人職員研修会 採用検討委員会 看護師連絡会
法人カリキュラム会議 リスクマネジメント部会 他

・法人外部会

私立保育園連盟の各部会 府知的障害児者施設連絡会
市老人福祉施設連盟 区社会福祉施設連絡会
府社協保育部会 他

※活動内容・会議結果は毎月開催の施設長会で報告

○監 査

- ・法人監事監査(伊藤監事・西平監事) 平成 28 年 5 月 19 日
- ・社会福祉施設に係る指導監査(こども青少年局) 平成 28 年 3 月 1 日
~3 日
- ・社会福祉法人指導監査(大阪府) 平成 28 年 10 月 27 日

○苦情解決第三者委員会

- ・大阪 平成 28 年 11 月 2 日
- ・沖縄 平成 28 年 12 月 15 日

○人 事

- ・経験、適正に応じた法人内異動の実施
- ・平成 29 年 4 月 1 日付辞令交付(正規職員) 昇格・異動・新採用 計 35 名
- ・平成 28 年 4 月 1 日新規採用者(計 25 名)
保育教諭 8 名 保育士 14 名 放課後児童支援員 2 名 介護職員 1 名
- ・経験、技能に応じ、児童施設に副主任・リーダーの配置と処遇

○研 修

- ・比嘉正子地域貢献事業研修センター及び各施設における研修
 - ・大阪府社会福祉協議会などが実施する外部研修へ参加
- ※詳細は32頁以降に掲載。

○表 彰

(福)日本保育協会主催 保育所保育実践研究・報告

- ・研究奨励賞 都島乳児保育センター
「保育の質を高めるリスクマネジメント
~ヒヤリハット集計後の事故回避の取組み」

- ・実践奨励賞 都島東保育園
「壁でつながる0歳からの発達
~わが園の名物となった壁のぼり」

大阪市社会福祉施設従事者 市長表彰 1 名 感謝状 8 名

大阪府社会福祉協議会 永年勤続表彰 1 名

日本保育協会 施設長表彰 1 名 永年勤続表彰 1 名

○福利厚生

- ・比周会主催懇親会 平成 28 年 7 月 8 日
平成 28 年 12 月 18 日
- ・非常勤職員慰労会と永年勤続者表彰 平成 28 年 10 月 21 日
- ・ひまわりの郷職員慰労会 平成 28 年 11 月 2 日
- ・クラブ活動への助成(バレーボール フットサル ゴスペル 太鼓)

○財 務

- ・新会計基準のもと、適正な財務管理に努めている
- ・法人の財務状況について法人ホームページで公表
監事監査報告書 財務情報 事業報告書 現況報告書

○広報活動

- ・広報誌ゆんたく
平成 28 年 7 月発行(臨時号・法人創立 85 周年特集)
平成 28 年 10 月発行(25 号) 平成 29 年 3 月発行(26 号)
各 3500 部 保護者 利用者家族 地域 社会福祉関係他に配布
- ・認定こども園・保育園から毎月「園だより」を配布 ホームページ随時更新
- ・法人のご案内「Together with」改訂版作成 平成 29 年 3 月
- ・法人のご案内「Together with」高齢者施設版作成 平成 29 年 3 月
- ・施設長から会長 理事長 事務局長へメールによる週報告

平成28年度理事会開催状況

開催年月日	議 案 内 容	
出席状況		
28. 3. 24	①平成27年度補正予算(案)について	
理事 11(2)	②定員変更(案)について	
監事 2	③都島こども園の名称変更について	
	④建物売買契約の締結について	
	⑤平成28年度事業計画(案)について	
	⑥平成28年度収支予算(案)について	
	⑦定款変更(案)について	
	⑧規則・規程の改正(案)について	
	⑨人事異動(案)について	
28. 5. 26	①平成27年度事業報告書(案)について	
理事 11(2)	②平成27年度収支決算書(案)について	
監事 2	③定款変更(案)について	
	④規則・規程(案)の変更について	
28. 7. 8	①ひまわりの郷 空調設備の更新について	
理事 10(6)	②規程の改正(案)について	
監事 2	③人事異動(案)について	
28. 9. 20	①都島桜宮保育園分園の設置について	
理事 10(1)	②都島桜宮保育園の増築について	
監事 2	③地域子育て支援拠点事業「フレンドリーせいいく」開設について	
	④給与規則(沖縄本部)の一部改正(案)について	
28. 11. 30	①定款の変更について	
理事 11(1)	②評議員選任・解任委員会運営細則について	
監事 2	③評議員選任・解任委員会の委員選任について	
	④平成28年度補正予算(第1回)案について	
29. 2. 22	①評議員選任・解任委員会の委員選任について	
理事 11(2)	②評議員選任候補者の推薦について	
監事 2	③児童デイサービス「せいいく」の開設について	
	④都島桜宮保育園の定員変更について	
	⑤都島桜宮保育園の改修増築工事に係る仮園舎について	
	⑥公印管理規程について	
29. 3. 30	①平成28年度補正予算(案)について	
理事 11(2)	②平成29年度事業計画(案)について	
監事 2	③平成29年度収支予算(案)について	
	④都島桜宮保育園仮園舎の契約について	
	⑤規程・規則の制定及び改正(案)について	

※役員定数

理事 11 開催回数(平成28年度予算関係も含む) 7回

監事 2

()は書面出席

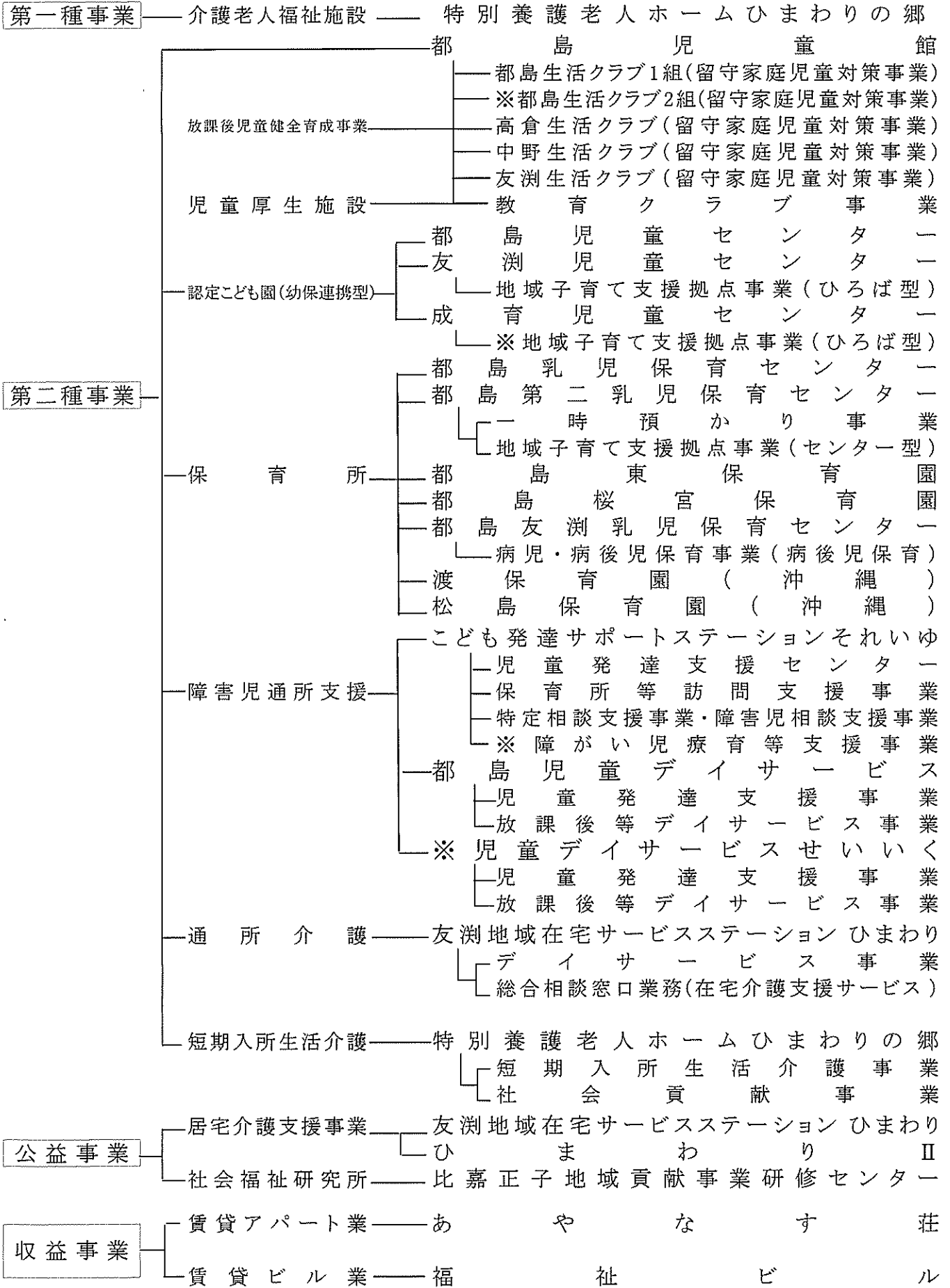
平成28年評議員会開催状況

開催年月日	議 案 内 容
28. 3. 24	①平成27年度補正予算(案)についての意見聴取
評議員 20 監事 2	②定員変更(案)についての意見聴取
	③都島こども園の名称変更についての意見聴取
	④建物売買契約の締結についての意見聴取
	⑤平成28年度事業計画(案)についての意見聴取
	⑥平成28年度収支予算(案)についての意見聴取
	⑦定款変更(案)についての意見聴取
	⑧規則・規程の改正(案)についての意見聴取
	⑨人事異動(案)についての意見聴取
28. 5. 26	①平成27年度事業報告書(案)についての意見聴取
評議員 19 監事 2	②平成27年度収支決算書(案)についての意見聴取
	③定款変更(案)についての意見聴取
	④規則・規程(案)の変更についての意見聴取
28. 7. 8	①ひまわりの郷 空調設備の更新についての意見聴取
評議員 12 監事 2	②規程の改正(案)についての意見聴取
	③人事異動(案)についての意見聴取
28. 9. 20	①都島桜宮保育園分園の設置についての意見聴取
評議員 18 監事 2	②都島桜宮保育園の増築についての意見聴取
	③地域子育て支援拠点事業「フレンドリーせいいく」開設についての意見聴取
	④給与規則(沖縄本部)の一部改正(案)についての意見聴取
28. 11. 30	①定款の変更についての意見聴取
評議員 18 監事 2	②評議員選任・解任委員会運営細則についての意見聴取
	③評議員選任・解任委員会の委員選任についての意見聴取
	④平成28年度補正予算(第1回)案についての意見聴取
29. 2. 22	①評議員選任・解任委員会の委員選任についての意見聴取
評議員 17 監事 2	②評議員選任候補者の推薦についての意見聴取
	③児童デイサービス「せいいく」の開設についての意見聴取
	④都島桜宮保育園の定員変更についての意見聴取
	⑤都島桜宮保育園の改修増築工事に係る仮園舎についての意見聴取
	⑥公印管理規程についての意見聴取
29. 3. 30	①平成28年度補正予算(案)についての意見聴取
評議員 18 監事 2	②平成29年度事業計画(案)についての意見聴取
	③平成29年度収支予算(案)についての意見聴取
	④都島桜宮保育園仮園舎の契約についての意見聴取
	⑤規程・規則の制定及び改正(案)についての意見聴取
	⑥役員を選任について

※定数

評議員 23 開催回数(平成28年度予算関係も含む) 7回
監事 2

II 事業の内訳



※28年度より事業開始

1. 第一種社会福祉事業(高齢者)

(1)特別養護老人ホーム ひまわりの郷

年間延べ利用者数(入院者を除く)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2,136	2,247	2,302	2,387	2,409	2,350	2,404	2,271	2,366	2,307	2,179	2,397	27,755

職員数

常勤職員									非常勤職員			合計
施設長	生活相談員	機能訓練指導員	介護支援専門員	栄養士	医師 看護師	介護職員	事務職員	計	常勤並	短時間	計	
1	1	兼1	2	1	5	30	3	43	7	21	28	71

平成29年3月31日現在

固定資産取得価格一覧

摘要	金額
空調設備更新工事	58,980,431
オゾン発生ユニット	289,440
AED一式	302,400
特殊浴槽(ちんとんしゃん寄贈)	151,000
厨房ガス給湯器取替	196,560
5 件	59,919,831

主たる修繕

<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン室内機洗浄 ・エアコン室外機修理 ・大型リフト車(ハイエース)修理 ・加圧給水ユニット修繕

入退所状況

入退所月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	3	5	1	3	0	1	1	0	3	1	2	1	21
退所	7	2	1	2	1	1	0	2	1	2	1	1	21
退所理由	死亡、長期療養等												

年齢構成

平成29年3月31日現在

年齢 性別	～65歳	～70歳	～75歳	～80歳	～85歳	～90歳	～95歳	～100歳	101歳～	合計
男	0	0	2	1	7	3	2	0	0	15
女	0	0	1	8	11	21	12	9	3	65
計	0	0	3	9	18	24	14	9	3	80

コメント(特養)

・平成28年度の平均稼働率は、97.0%でした。8月・9月が99%を超える高率であるのに対して、4月が91%、5月が93%、3月が95%と低迷しました。これらは、いずれもインフルエンザの感染が原因で、短期入所をお断りした結果でした。平成29年度では、いち早く感染の広がりを抑えるよう、危機管理を高めていきたいと思えます。

・開設より15年がたち、設備も更新が必要な時期となりました。平成28年度では、環境省による「二酸化炭素排出抑制対策事業」の補助金を用いながら、エアコンの全面入れ替えを行いました。新年度では、入浴機器の入れ替えを、労働局の「介護福祉機器等助成金」を用いながら行う予定です。

・平成27年度の介護報酬マイナス改定の影響や、処遇改善加算による人件費の押し上げなどで、経営状況が苦しくなっております。これに対して各種加算の取得や、各種のランニングコストの削減・見直しを行っております。

2. 第二種社会福祉事業

(1)都島児童館

学年・学校別人数(平成28年4月1日登録児童数) -都島生活クラブ1・2組

学年 学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
都島小学校	14	8	5	6	8	1	42
東都島小学校	7			4	1		12
							0
合計	21	8	5	10	9	1	54

学年・学校別人数(平成28年4月1日登録児童数) -高倉生活クラブ

学年 学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
高倉小学校	6	3		6	1		16
友淵小学校	9						9
合計	15	3	0	6	1	0	25

学年・学校別人数(平成28年4月1日登録児童数) -中野生活クラブ

学年 学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
中野小学校	8	7	2		3		20
雲雀が丘小学校					1		1
追手門学院小学校	2						2
合計	10	7	2	0	4	0	23

学年・学校別人数(平成28年4月1日登録児童数) -友淵生活クラブ

学年 学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
友淵小学校	12	7	7	6	2		34
							0
合計	12	7	7	6	2	0	34

教育クラブ

クラブ名	講師	レッスン	時間	対象児	年間延利用数
英語	3 (外国人講師を含む)	月・水曜日	13～18時	幼児～小学生	563
絵画	1	火曜日・金曜日	13～18時	幼児～小学生	1,309
バレエ	1	水曜日	13～18時	幼児～中学生	2,385
書道	1	木曜日・金曜日	14～18時	幼児～中学生	4,320
ピアノ	1	火曜日	15～18時半	幼児～小学生	1,167
	1	水曜日	15～18時半	幼児～小学生	
	1	金曜日	15～18時半	幼児～小学生	

		都島	高倉	中野	友淵	教育クラブ	計
常勤	館長	1	(兼務)	(兼務)	(兼務)	(兼務)	1
	支援員	1			2		3
	補助員	1					1
非常勤	支援員	3	1	1			5
	補助員	2	2	2	2		8
	講師					6	6
計		8	3	3	4	6	24

固定取得価格一覧

摘要	金額
御幸生活クラブ改装工事	3,275,000
御幸生活クラブ壁掛けエアコン	449,906
パソコン(ICT補助)各生活クラブ1台	684,015
件	4,408,921

主たる修繕

クラブ室改装(都島1・2組)
インターホン設置工事(高倉・友淵)

【都島児童館 平成 28 年度事業報告】

前半は、職員間の連携がうまく図れず、個々の話し合いを重ねながらの日々であった。

秋より各保育園への職員の出向が始まり、新たな視点で子どもたちの育ちを学ぶ機会が得られたことは、その後の保育に十分に活かされたと思っている。後半、新年度に向けての保護者説明会を行う中、友渕地域での希望者が多く、今のままの施設ではパンク状態のため、新たな施設増設に向け場所探しから始まり、年明けは新規事業申請のための準備に追われることとなった。

そのような中、職員自ら勉強会の時間を設け、「児童憲章・子どもの権利条約」等、児童福祉の原点から「放課後児童健全育成事業の運営指針」に至るまで学び直す機会を作り、保育内容の向上を図る努力を惜しまなかったことは評価すべきことではあったが、提出書類の遅れが度重なるようになり、事務管理の徹底が次年度に向けての大きな課題となった。

名称	取り組み・成果	課題・改善点
都島生活クラブ（一・二組）	・子どもたちが主体となって自分たちの生活を作り、活動できるように支援を行った。日々の活動内容や行事を職員主導にするのではなく、様々な行事などが子どもたちから企画・運営された。「企画」については、大人顔負けの活動内容と発展していった。そうした中で、自分たちで決めることを煩わしく感じていた高学年の子どもたちも「自分たちで決められるのは楽しい」といった声も聞くことができた。	・子どもたち主導の行事が増えていった中で子どもたちの活動を尊重するあまり、行事内容などの告知が遅れたり、曖昧になったりする事態がみられた。人数が増えることもあり、配布物などの管理を徹底していく必要がある。
中野生活クラブ	・「大人がやってくれる」と何でも考えてしまいが多い児童が多くいたので、クッキングの材料やおやつのお買い出し・選択などもできるだけ子どもたちに委ねるようにし、活動は子どもたちが主体であるということも分ってもらった上で、いきいきと活動してもらえるように工夫した。	・子どもたちの自主性を高めるための取り組みが、全体として見た時に、高まったこととそうでない子の差が大きく空いてしまったように感じた。次年度は生活全体として高まるように活動したい。
高倉生活クラブ	・支援員主導の子ども中心ではなく、子ども同士や子どもと支援員の間でも話し合い、何がベストな選択かを決めていく形を通した。その結果、意見を聞く・話すという力が伸びたと感じた。	・時に支援員の考えを押切ったり子どもたちを誘導してしまう声かけをする等、本質から崩れることもあったので気を付けたい。
友渕生活クラブ	・子どもたち自ら遊びを考えたり、行事を企画したり、考えて行動していた。 ・良くも悪くも対等に過ごせた。	・大人の都合で振り回してしまうことがあったのでなくしたい。 ・職員同士の情報の共有、コミュニケーションが足らず他の職員にも迷惑をかけた。

(2)認定こども園・保育所

委託児童数（年間延べ人数）

※下段()は障害児数再掲

園名	年		4月初日 入所人数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	利用定員									
認定こども園 都島児童センター	1号	15	2						1	1
	2.3号	316	284	138	238	301	1,004	888	924	3,493
		331	286	138	238	301	1,004	888	925	3,494
							(24)			(24)
認定こども園 友渕児童センター	1号	15	2			8	11		19	38
	2.3号	256	243	134	334	492	623	624	720	2,927
		271	245	134	334	500	634	624	739	2,965
						(12)	(21)	(22)		(55)
認定こども園 成育児童センター	1号	6				3	10			13
	2.3号	96	89	138	204	201	158	204	180	1,085
		102	89	138	204	204	168	204	180	1,098
							(12)			(12)
都島乳児保育センター	3号	60	60	316	653					969
										(0)
都島第二乳児保育センター	3号	60	70		166	661				827
						(23)				(23)
都島東保育園	2.3号	120	135	216	247	273	324	341	335	1,736
							(12)	(36)	(33)	(81)
都島桜宮保育園	2.3号	130	145	170	290	339	384	324	324	1,831
							(24)	(22)		(46)
都島友渕乳児保育センター	3号	30	29	85	156	144				385
										(0)
渡保育園	2.3号	90	89	36	216	215	233	204	156	1,060
										(0)
松島保育園	2.3号	100	104	36	204	216	240	276	276	1,248
										(0)
計		1,294	1,252	1,269	2,708	2,853	2,987	2,861	2,935	15,613
				(0)	(0)	(23)	(72)	(91)	(55)	(241)

年度途中入所受け入れ状況

園名	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
都島児童センター			3	1	2	1		1	2			2		12
友渕児童センター					1	1	1		1		1			5
成育児童センター					2			2						4
都島乳児保育センター				2	2	3	3		2	3	2		1	18
都島第二乳児保育センター														0
都島東保育園					2		4		1	1				8
都島桜宮保育園				1	1					3	19		3	27
都島友渕乳児保育センター			1	1	1	1								4
渡保育園														0
松島保育園														0
計		0	4	5	11	6	8	3	6	7	22	2	4	78

延長保育利用延べ人数

園名	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
都島児童センター		798	766	830	950	713	833	742	786	787	734	976	981	9,896
友渕児童センター		1,025	925	1,152	975	943	910	999	1,096	971	860	996	1,048	11,900
成育児童センター		303	276	300	299	277	287	273	301	289	252	328	345	3,530
都島乳児保育センター		53	68	94	129	154	149	126	135	132	134	117	145	1,436
都島第二乳児保育センター		214	234	238	227	241	251	251	257	250	239	271	303	2,976
都島東保育園		246	251	290	271	255	312	367	305	322	296	331	348	3,594
都島桜宮保育園		426	372	462	397	427	411	448	478	460	440	523	528	5,372
都島友渕乳児保育センター		59	42	64	52	58	63	53	61	68	48	49	63	680
渡保育園		112	114	173	163	151	154	146	142	105	107	121	131	1,619
松島保育園		176	207	243	263	271	250	299	262	287	265	289	331	3,143
計		3,412	3,255	3,846	3,726	3,490	3,620	3,704	3,823	3,671	3,375	4,001	4,223	44,146

職員数(子育て支援事業含む)

(下段は無資格)

	常勤職員								非常勤職員			合計	
	施設園長	副園長	主任保育士	主幹保育教諭	保育士	保育教諭	栄養士	調理師	その他	計	常勤並		短時間
認定こども園 都島児童センター	1	1	1	21				2	26	6	5	11	43
										1	5	6	
認定こども園 友渕児童センター	1	1	1	16				1	20	14	3	17	42
										1	4	5	
認定こども園 成育児童センター	1	1	1	9					12	3	4	7	23
										1	3	4	
都島乳児保育 センター	1	1		14	1				17	7	2	9	33
										3	4	7	
都島第二乳児 保育センター	1	1		15					17	2	1	3	23
										1	2	3	
都島東保育園	1	1		14				1	17	7	2	9	31
										0	5	5	
都島桜宮保育園	1	1		14					16	8	8	16	36
										2	2	4	
都島友渕乳児 保育センター	1	1		4					6	4	6	10	17
											1	1	
渡 保 育 園	1			8			2	1	12	2	1	3	16
											1	1	
松 島 保 育 園	1	1		7			2		11	4		4	17
										1	1	2	
合 計	10	9	3	122	1	4	5	154	57	32	89	281	
										10	28		38

平成29年3月31日現在

固定資産取得価格一覧

都島児童センター		友渕児童センター	
避難階段工事	6,048,000	アルミ庇取付工事	972,000
樋設置工事	1,242,000	屋上テント支柱取付	172,800
園長用パソコン	101,127	食器洗浄機ガスブースター	972,000
LAN設備	171,720	タッチパネル機2台	374,976
印刷機	108,000	桜システム	925,000
複合機	468,180	ワンタッチプール	155,000
桜システム	925,000		
7 件	9,064,027	6 件	3,571,776

成育児童センター		都島乳児保育センター	
フレンドリーせいいく改装工事	4,571,190	アルミ避難車ノーパンク	165,000
フレンドリーせいいく本棚設置工事	920,951	コアラ組エアコン	486,000
桜システム	925,000	桜システム	925,000
非常通報装置	378,000		
ノートパソコン2台	215,568		
5 件	7,010,709	3 件	1,576,000

都島第二乳児保育センター		都島東保育園	
桜システム	925,000	複合機	506,520
ライオン組エアコン	174,960	園長用パソコン	101,661
主任用パソコン	101,661	桜システム	925,000
サーバー機	213,840	サーバー機	213,840
ポータブル灯光器	123,000		
5 件	1,538,461	4 件	1,747,021

都島桜宮保育園		都島友渕乳児保育センター	
分園改修工事	14,472,000	園長用パソコン	107,748
避難兼用おでかけ車(分園)	174,000	桜システム	925,000
おむつ交換台(分園)	138,000		
ワイヤレスアンプ	167,000		
桜システム	925,000		
タッチパネル、サーバー機	362,017		
6 件	16,238,017	2 件	1,032,748

渡保育園		松島保育園	
パソコン	130,000	エアコン	378,000
1 件	130,000	1 件	378,000

主たる修繕

<p style="text-align: center;">都島児童センター</p> <p>空調洗浄 その他各所修繕</p>	<p style="text-align: center;">友渚児童センター</p> <p>排水管清掃 イラスト貼替工事 その他各所修繕</p>
<p style="text-align: center;">成育児童センター</p> <p>エレベーター部品交換 空調洗浄 フレンドリーせいいく照明工事 ハイエース修理 その他各所修繕</p>	<p style="text-align: center;">都島乳児保育センター</p> <p>消防設備更新 殺菌庫修繕 その他各所修繕</p>
<p style="text-align: center;">都島第二乳児保育センター</p> <p>給水設備修繕工事 その他各所修繕</p>	<p style="text-align: center;">都島東保育園</p> <p>排水管洗浄 厨房土間修繕 2階排水管修繕 空調洗浄 スチームコンベクション修理 その他各所修繕</p>
<p style="text-align: center;">都島桜宮保育園</p> <p>排水管清掃 外壁塗装 空調洗浄 その他各所修繕</p>	<p style="text-align: center;">都島友渚乳児保育センター</p> <p>厨房修繕 その他各所修繕</p>
<p style="text-align: center;">渡保育園</p> <p>屋上ポンプ修理 その他各所修繕</p>	<p style="text-align: center;">松島保育園</p> <p>トイレブース・濡れ縁修理 その他各所修繕</p>

コメント(認定こども園)

都島児童センター	<p>○取組・成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人創立85周年記念行事に5歳児が代表で参加し、保護者や地域の方々に当法人・当園の情報をPRすることができた。 ・教育・保育内容を見直しながら、乳児は発達を見通した保育を実施、幼児は教育時間と午後の保育時間を兼ね合わせた総合的な教育・保育を行えるよう取り組んできた。職員も時間配分を考慮しながら指導することを心がけた。 ・幼児の教育時間を充実させるため、専門講師(音楽・体育・英語)の指導を導入しながら、子どもへの指導だけでなく職員の基礎知識の向上にもつながった。また課外教育クラブへの参加が増え、保護者の教育に対する意識も更に強くなったように感じる。 ・緊急時避難用螺旋階段を設置したことで、混雑することなく安全に子どもたちを避難誘導することができるようになる。 <p>また、日頃からヒヤリハットを記録・集計してきたが集計結果を活用するまでにいたらなかった。集計結果をふまえ、定期的に安全チェックを行い、安全に配慮した環境づくりを徹底していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPをリニューアルし、随時更新することで自園の取組を保護者だけでなく地域の子育て家庭へ情報発信し、園のPRを行うことができた。 ・非常勤職員の確保を行い、年度途中入所児の受入れ(特に、きょうだい関係の1歳児)をスムーズに行えた。 ・勤務時間の終業を目標に会議等を日中に行う等、勤務体制の見直しを行ってきたが、職員の業務が多く勤務時間内に終える事が難しい状況だった。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園長、副園長、主幹保育教諭を中心に教育・保育の流れをつくるとともに、経営・組織運営も理解できる職員を育成する。 また、職員一人ひとりが専門職としてスキルアップを図り、研技能習得によるキャリアアップが出来る仕組みを構築していき ・当園の教育・保育を見直しながら、園独自の乳幼児マニュアルを作成していく。 ・危機管理(防災・苦情・事故・感染症・アレルギー児への対応等)の対策対応を強化する。 ・職員の業務を労働時間内の終業を目指し、職務内容・職務分担を見直しながら業務効率化を図る。ノー残業dayの徹底。 ・幼稚園教諭免許取得及び幼稚園教諭免許更新が必要な職員に対して、計画的に取得または更新のための講習が受けられるような体制を整える。
友淵児童センター	<p>職員の共通理解のもと、子どもたちの最善の利益を考慮し乳児期～幼児期へ教育保育の機会を提供し心身ともに健やかな子どもを育てる。小学校就学に向けての学校教育を意識した認定こども園として、昨年以上の充実を図ることを掲げた。</p> <p>○取組・成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児期から幼児期への成長過程の見直しを行うとともに、乳児期の関わりを大切に幼児期への移行を職員とともに共通理解のもと取り組むことができた。「0からはじまるドレミ」と題して音楽に関わる成長、取り組みなどをまとめ研究発表も行った。 ・そうすることで、職員の連携が図れ、子どもたちのそれぞれの年齢の発達や関わりを見直しができる良い機会にもなった。 ・小学校の教職員を現場実習として受け入れることで、職員、子どもたちとの関わりも持つことができた。 ・小学校教職員による、文字活動の指導を受け、年長児は小学校に向けての体験を味わうことができた。 <p>○課題</p> <p>1号認定の子どもを増やし、乳児期～幼児期への教育保育を、認定こども園として充実させていきたい。</p>
成育児童センター	<p>平成28年度の事業目標として、教育・保育の向上、法人85周年記念事業行事等を通じた情報発信、保護者アンケートの実施、地域子育て支援の充実を掲げた。</p> <p>○取組・成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度から始まった幼保連携型教育保育要領に基づき、保育教諭との信頼できる関係の中で子どもたちの主体性を尊重しながら、教育・保育を進め、遊びを通して様々な経験ができた。 ・特に年長児については、85周年記念行事の参加を通して大勢の友達や保育者と交流ができ、発表会では保護者や出席された地域の方へ法人の様々な活動を発信し理解していただけた。 ・小学校との連携については、学校の先生の研修を積極的に受け入れて、学校の状況を聞いたり、園の状況を伝えたりして情報交換を行い、課題をみつけるなど連携が一歩進んだ。 ・アレルギーの強い子どもへの対応については、看護師を中心にマニュアルを立てて実践し、給食室とも密に連携をとって事故なく過ごせた。また感染症についても感染拡大を防ぐための対策をとって感染拡大を最小限にとどめられた。 ・地域子育て支援については、大阪市地域子育て支援拠点事業「一般型(ひろば型)」にかかる委託事業者の公募に応募し選任され、10月から開設。予想以上に大勢の地域の子育て家庭の親子に利用していただいている。 ・保護者アンケートを2月に行い、71件に配布して54件から回答があった。(回答率76%)大半は日々の私たちの努力を評価した言葉が書かれていたが、園が行っていることが伝わっていかかったり誤解があったり、職員への注意喚起も書かれており、今後の課題が見つかった。 ・幼稚園教諭免許については、正規職員1名と非正規職員3名が研修を受講して更新した。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年後に施行される幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改正の内容を知り、改めて新教育・保育要領について理解を深める。 ・職員の意識や連携の改善を図り年間を通して計画的な業務の実行、就業時間内での業務の終了、有給休暇取得率の向上を実現して職員一人ひとりがプライベートな時間を充実させて、働きやすい職場をつくる。 ・保護者のアンケートの回答を受けて、広報が足りないところはきちんと伝え必要ところは改善して、園のサービス向上につなげる。

<p>都島乳児保育センター</p>	<p>平成28年度の事業目標として、「家庭との連携を密にし、安全で衛生的な落ち着いた環境の中で子ども一人ひとりが安心して過ごせるような保育に努める」「乳児マニュアルの活用と保育の充実」「危機管理の対策と強化に取り組み安全に配慮した環境づくり」「在宅家庭への支援」を掲げた。</p> <p>○取組について Hokkori(クラス懇談)の内容を見直し、保護者の声を受け入れながら、説明やお願いだけでなく子どもの様子を伝えたり保護者同士の親睦を深められるような内容にした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成した「乳児マニュアル」を活用するため、主任主催の法人内研修を第二乳児保育センターと共同で行い理解を深めた。 ・昨年に引き続き、第二乳児保育センターと共に0歳児～2歳児までの保育内容を見直し統一を図ることに努めた。 ・創立85周年行事を行い、職員研修で法人の歴史と共に、時代の流れを理解しこれからの課題を確認する。保護者には、法人運営に対するご理解を感謝すると共に、これからの教育保育の方向性を明らかにしていった。 ・ホームページを充実させ、自園の取組を保護者だけでなく地域の子育て家庭へ情報発信し、園のPRを行うことに努めた。 ・「0歳児とあそぼう」「1歳児とあそぼう」を定期的に行う中で、在宅子育て家庭との交流を深め、途中入園希望者の状況を把握し受入れに努力した。また時期を問わず施設見学希望を受けながら、保護者のニーズを把握した。 <p>○課題・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児保育専門施設として更なる乳児保育の充実を目指しつつ、乳児の活動の幅を広げるための、保育技術や基礎体力づくりに取り組む。年間で体操やダンスを日々の保育に取り入れ楽しみながら体力づくりをする。 ・職員の人材育成において、社会情勢や保育の動向に目を向け、各自が求められている役割・仕事内容を遂行できるようにリーダー職員を養成していく。また保育士確保のためにも実習生やボランティアを広く受け入れていく。 ・職務内容や保育関係書類を見直し、業務改善を図る。「今までしていたから…」の概念を見直し、必要なものかを見極める。当番体制や各担当委員などの仕事内容なども検討していく。 ・自園の取組や子どもたちの園での様子を理解してもらうためにも、保育参加率を高めることが課題である。
<p>都島第二乳児保育センター</p>	<p>平成28年度の事業目標として、「家庭との連携を密にし、安全で衛生的な落ち着いた環境の中で子ども一人ひとりが安心して過ごせるような保育に努める」「乳児マニュアルの活用と保育の充実」「危機管理の対策と強化に取り組み安全に配慮した環境づくり」「在宅家庭への支援」を掲げた。</p> <p>○取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝5分のミーティングや、各委員の活発な運営により情報を共有し共通理解のもと保護者と連携をとりながら丁寧に保育することを心がけ、『当たり前のことを見直すこと』に重点を置いた。 ・完成した「乳児マニュアル」を活用するため、主任主催の法人内研修を第二乳児保育センターと共同で行い理解を深めた。 ・昨年に引き続き、第二乳児保育センターと共に0歳児～2歳児までの保育内容を見直し統一を図ることに努めた。 ・危機管理において、リスクマネジメント委員会を中心に長年まとめてきたヒヤリハットの統計から導きだされる要因や改善策を数字やグラフでまとめ、日本保育協会の研究奨励賞をいただいた。 ・ホームページを充実させ、自園の取組を保護者だけでなく地域の子育て家庭へ情報発信し、園のPRを行うことに努めた。 ・創立85周年行事を行い、職員研修で法人の歴史と共に、時代の流れを理解しこれからの課題を確認する。保護者には、法人運営に対するご理解を感謝すると共に、これからの教育保育の方向性を明らかにしていった。 <p>○課題・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児保育専門施設として更なる乳児保育の充実を目指しつつ、2歳児が3歳児になり幼児の活動を少しずつ身につけられるように、環境設定や保育内容を考慮する。同時に保護者に向けても「幼児としての自立の一步」を伝えていく。 ・職員の人材育成において社会情勢や保育の動向に目を向け、各自が求められている役割・仕事内容を遂行できるようにリーダー職員を養成していく。また保育士確保のためにも実習生やボランティアを広く受け入れていく。 ・危機管理において、ヒヤリハット集計等をデータ分析し、職員間で話し合いを行いながら保育に活用し事故防止に努めていく必要がある。 ・自園の取組や子どもたちの園での様子を理解してもらうためにも、保育参加率を高めることが課題である。
<p>都島東保育園</p>	<p>○取組と成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月の目標を職員、子どもの共通理解に努めているが、より浸透するよう子どもの覚えやすい言葉に変えたが浸透しなかった。 ・気になる子どもが多いが今年度は保健センターに繋がられたケースが3名。それ以外の就園児療育あーすに繋がられたケースが3名。今後も大阪市の巡回指導講師や保健センター、それ以外の等に協力を得ながら子どもたちが安定した生活を送れるよう努めた。 ・職員のスキルアップとしては幼稚園教諭免許取得1名、幼稚園教諭免許更新3名、スマイルサポーター取得1名と園全体でバックアップし免許取得に向け環境を整えた。 ・当園の「壁登り活動」を日本保育協会「保育所保育実践研究・報告」応募し《実践奨励賞》を受賞。職員の一層の共通理解に繋がった。 ・職員採用では、実習生から採用に繋がりが現在の職員の中では4名、29年度も1名が採用内定となり実習生指導職員が貢献。 ・法人の85周年、都島東保育園の39周年記念行事も職員、園児、保護者と協力し合い取り組むことができた。 ・8月に1階トイレの水道官が老朽化のため水漏れし予定外の工事が入った。他施設の協力があり園児の給食には支障は無く法人園の迅速な協力体制を改めて感じた。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育目標をみんなで意識し合う。気になる子どもが安心して過ごせるよう子どもと保護者の気持ちに寄り添う ・リスクマネジメントの職員全体の理解と活用に努め、報告書の記入の習慣づけ再発防止に努める。 ・実習生を採用試験受験者に繋げる。(目標2名)リーダー職員の育成、職員の資質向上。 ・昨年度に引き続き地域との関わりを意識的に進める。(地域のイベント参加、ひがみや祭り、地域掃除)大地協バザー参加等 ・園舎南側にマンション建設が始まっているので子どもの安全確保等、気を付けていく。 ・園舎の老朽化対策は怠らさずに行なう。

コメント(保育所2)

<p>都島友渕乳児保育センター</p>	<p>平成28年度の事業目標及び、職員体制・人材育成について「乳児保育の専門性を高める」「育中での危機管理」「職員育成の促進」を掲げた。</p> <p>○取組・成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度は4月に主任が替わり、年度途中の8月には施設長が替わったが新体制での中、子どもたち・保護者職員への移行はスムーズに行えた。 ・平成28年度は熊本地震、鳥取地震と大きな震災が起こり、南海トラフへの警戒が叫ばれる中、より職員間で真剣に考えることが多くなった。 ・ホームページに動画をアップしたが保護者からは非常に好評で反応も多くアンケートでも「何度も子どもと動画を見て楽しんでいる」などの声をいただき普段の園の様子もよくわかっていただけた。 ・地域福祉への貢献としては、室内開放や地域防災行事への参加など、今年も多彩に実施できた。友渕児童センターとの交流も、職員研修や保護者行事などは勿論、園児の交流にいたるまで幅広く交流を広げることができた。 ・平成27年度までは、友渕中学校の格技室を借りて「乳児運動会(ランランラン)」を実施してきたが平成28年度からは友渕児童センター内、0歳児はホール・保育室を使用し「親子ふれあいあいあそび」、1歳児は園庭で「親子競技」等年齢に応じて子どもも保護者も楽しんでいただける企画となった。 ・病後児保育の利用実績は118人。新規利用というよりも何度も利用している方のリピート率が高く、静養期間を病後児ルームで過ごすといった本来の利用方法で利用者の方からは「安心して利用ができる。心強い居場所があった」と言っていた。 <p>○課題・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練では、より現実的な対応についてのいくつかの課題が職員からも積極的に挙げられきた。地震時の保育室のリスク・実際の避難の想定・準備物、マニュアルの見直し作成など、ひとつずつ解決に向けて準備を重ねていきたい。保護者へも取組を公表し、より風通しの良い防災情報としていきたい。 ・ヒヤリハット・リスクマネジメントの報告も継続しつつ、実際に園の中でどこが危険な場所であるかリスクが潜んでいるのか引き続き点検し改善していく。 ・キャリアパスを明確にしてそれに沿った研修体系を策定し職員が研修体系に基づいて資質や専門性も向上を図る努力ができるようにしていく。 ・職員一丸となって土曜保育、早朝保育、延長保育に対応できるよう努力していきたい。 ・幼稚園教諭免許更新期間の職員が更新講習受講を計画的に進めてけるよう職員体制を整える。
<p>都島桜宮保育園</p>	<p>平成28年度の事業目標及び、職員体制・人材育成について「保育・教育内容」「保護者・地域との交流」「危機管理」「組織の再構築」等に分類し目標を掲げた。</p> <p>○取組・成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人85周年記念発表会では年長児が姉妹園と一緒にカスタネット奏を担当。新年度スタートと同時の取組となったが、新しい体験に意欲的に取り組み披露できた。教育内容では日々の「生活や遊びの中の学び」その教育的ねらいをふまえ活動を提供できるよう意識し、保護者や地域にも伝わるよう写真速報や、おたより、ホームページ等を意識し発行するよう努めた。 ・障がい児への対応は、姉妹園それいゆや大阪市の巡回訪問を利用し、アドバイスを受けることでより良い支援ができるよう個別支援計画を立て定期的に保護者との支援会議を行った。 ・保護者、地域との交流では保護者については、パパイベントや親子ふれあいデイ、運動会の資材係や餅つきの搦ぎ手の参加希望も多く、非常に協力的である。また今年度も保護者の協力のもと、(卒園した保護者の参加協力もあり)えほん広場の開催も充実して行うことができた。 ・地域との交流では中野地域の食事サービスへの訪問を継続することで子どもたちがよい広報となっている。また地域行事のサマーカーニバルへの職員参加は都島桜宮保育園をより知ってもらえる機会となっている。 ・小学校との連携は今回公開授業の案内をもらい参加することで授業の様子を知ることができた。また小学校教諭との懇談会も恒例となってきた。 ・子育てサロンについては、学童の人数が増えてきたこと、担当職員の体調不良、分園開園により夏季長期休室後そのまま完全閉室とした。 ・危機管理では、職員だけでなく3・4・5歳児への子どもたちへの安全教育として避難場所確認ツアーを毎年行っているが今年度は熊本地震・鳥取地震等があり、より意識をもって自身の身の守り方を学ぶ機会を設けた。また、職員は地域の防災訓練にも参加し意識を高めた。 ・待機児解消に向け、市に分園設置、本園の改増築工事の申請をだし1月には分園開設で19名の乳児の受け入れ枠を増やすことができた。次年度中には、本園工事を行い、平成30年度には受け入れ枠が51名となる。 <p>○課題・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本園工事に伴い、引越し仮園舎での生活となるので子ども、保護者にとって安全で安心できる環境を提供できるよう努める。また、保護者の声にも耳を傾けコミュニケーションを図る。 ・環境は変わろうとも「一人ひとりを大切に心に寄り添う丁寧な保育」「生活や遊びの中の学びその教育的なねらいをふまえた保育」を職員間(正規職員だけでなく非正規職員も含め)でより保育や教育の内容について、対応の仕方について話し合い見合う環境(場)をつくり、リーダー職員を中心に互いに刺激し合いながら質の向上を図る。 ・分園職員のための保育士確保は何とか間に合ったが、増改築後の職員確保に向けて実習生を採用に繋げるなどの採用活動はもちろん、現職員の離職防止にも努める。

コメント(沖縄)

<p>渡 保 育 園</p>	<p>平成28年度の事業目標として社会的資源としての施設の有効的活用と地域との交流を密にして、よりよい関係を築くことを、職員体制・人材育成についてはそれぞれの立場の研修を行うことについて取り組んだ。</p> <p>○取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お招き会に園児の祖父母のほか、地域の高齢者を招待し地域との交流を図った。 ・子育て支援として園庭解放や保育体験をおこなった。 ・法人研修として初任保育士の研修、中堅保育士の研修、法人の歴史を知る研修、創設者の思いを知る研修、虐待、個人情報、守秘義務についての研修をおこなった。 ・85周年記念イベントを盛大に行った。 <p>○今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士の研修を重ね、保育園の増える中、選ばれる保育園作りを目指す。 ・職員確保に向けて全職員で取組ように力を入れる。
<p>松 島 保 育 園</p>	<p>平成28年度の事業目標としてみわらび館での研修、85周年記念イベント、5歳児保育へ特に力を入れることを目標とし、職員体制、人材育成では、研修に力を入れてそれぞれが研鑽を積むよう計画した。</p> <p>○取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人研修として初任保育士の研修、中堅保育士の研修、法人の歴史を知る研修、創設者の思いを知る研修、虐待、個人情報、守秘義務についての研修をおこなった。 ・85周年記念イベントを盛大に行った。 ・5歳児保育に力を入れることにより、他園からの入園希望児童があり、また幼稚園への流失が少なかった。 <p>○今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士の研修を重ね、保育園の増える中、選ばれる保育園作りを目指す。 ・職員確保に向けて全職員で取組ように力を入れる。

(3) 子育て支援事業

子育て支援事業の実施状況

	①一時保育事業 (一時預かり)	②地域子育て支援 拠点事業	③病後児保育事業
都島児童センター			
友渕児童センター		大阪市委託:ひろば型	
成育児童センター		大阪市委託:ひろば型	
都島乳児保育センター			
都島第二乳児保育センター	大阪市補助	大阪市委託:センター型	
都島東保育園			
都島桜宮保育園		法人独自:フレンドリーさくら	
都島友渕乳児保育センター			大阪市委託
渡保育園	法人独自		
松島保育園	法人独自		

①一時保育事業

「すくすく」(大阪市補助事業)

延べ利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一時預かり事業	290	258	337	331	331	340	381	370	336	349	352	385	4,060

法人独自事業

延べ利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
渡保育園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松島保育園	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

②地域子育て支援拠点事業

センター型-「地域子育て支援センターのびのび」(大阪市委託事業)

地域支援活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
回数	20	19	22	20	22	18	21	20	19	19	20	22	242	
延べ利用者数	大人	208	220	315	247	257	266	259	296	260	271	285	310	3,194
	子ども	226	228	328	261	269	277	274	308	272	289	296	322	3,350

相談・援助活動	基本的な生活	発育・発達	医学的問題	生活環境	育児方法	その他	計
件数		181	73	37	13	76	436

ひろば型-「フレンドリーともぶち」(大阪市委託事業)

子育て親子交流促進	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
回数	20	19	22	20	22	19	20	20	19	19	20	22	242	
延べ利用者数	大人	188	207	266	244	237	261	255	281	216	267	265	280	2,967
	子ども	204	221	297	284	285	300	299	317	241	282	289	299	3,318

相談・援助活動	基本的な生活	発育・発達	医学的問題	生活環境	育児方法	その他	計
件数		136	90	23	122	95	506

ひろば型-「フレンドリーせいいく」(大阪市委託事業) ※10月より開所

子育て親子交流促進	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数							15	20	19	19	20	22	115
延べ利用者数	大人						108	210	202	233	274	361	1,388
	子ども						114	214	204	236	277	366	1,411

相談・援助活動	基本的な生活	発育・発達	医学的問題	生活環境	育児方法	その他	計
件数		28	9	8	1	2	52

中野地区子育てサロン「フレンドリーさくら」(法人独自事業) ※8月より閉室

子育て親子交流促進	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者数	大人	29	50	70	40								189
	子ども	29	49	70	40								188

③病後児保育事業

病後児ルーム「ひまわり」(大阪市委託事業)

定員4名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者数	10	9	13	17	11	11	14	6	7	3	8	9	118

コメント(子育て支援事業)

<p>一時預かり事業</p>	<p>・主に就労目的等で週2～3日の利用で構成するパンダチームと0歳児、単発利用、利用の頻度が少ない方で構成するすくすくチームの2グループで受け入れることでより多くのニーズに応えられる体制をとった。職員の年度途中退職や異動が重なり後半は受け入れ状況が厳しくなった。 ・就労状況による途中入所がきびしくなったため、利用される方の入所がなかなか進まない状況 ・都島区子育て支援室や保健福祉センターより、発達気になる子ども、育児不安を抱える母親の支援など丁寧に関わらなければならないケースの依頼も数件入り、昨年度に引き続き丁寧な関わりを心がけた。</p> <p>○次年度に向けて ・職員不足などで、一時保育の利用人数の上限を昨年度より下げ、一日12～13人を目安にする。職員体制を考慮し、保育室との連携も図る。</p>
<p>地域子育て支援拠点事業</p>	<p>・ブックスタート後の絵本との出会いの場として設けた「えほんの日」が定着し、絵本への興味がさらに深まっている。0歳児対象の「初めの一歩」から1歳児になった子どもが参加しやすい「1歳のためのはっぴータイム」を新たに設けることで保護者の足が遠のくことなく参加できた。 ・『ドキワク都島』の企画運営を都島区子育てプラザと連携し、都島区の子育て支援状況を把握、情報交換をしながら、更に住宅で子育てをされている方への支援につなぐことができた。また保護者の育児困難を相談機関であるひまわりネットと連携した。 ・都島区の拠点事業として、法人内だけでなく区内の子育て支援機関との連携、保健福祉センターの3か月児健康診査への参加(周知活動等)をはじめとし、都島区の子育て支援により積極的な関わりをすすめた。</p> <p>○次年度に向けて ・29年度より土曜日を閉室にしブックスタートを基本、第2金曜の午前中に変更。</p>
<p>地域子育て支援拠点事業 ひろば型</p>	<p>(フレンドリーともぶち) ・つどいの広場の目的として、気軽に親子が集える広場として充実した一年であった。講習や講座を取り入れることもできた。引き続き、法人や友渕児童センターと連携を図りながら支援の充実を図っていく。 (フレンドリーせいいく) ・地域への挨拶程度でほとんど広報活動もできないままのスタートだったが駅前という立地条件の良さもあり、初日から7組の親子が訪れ、それ以降も順調に利用者が増え、6ヶ月で204名の子どもの登録があり、ニーズの高さを改めて感じる事となった。 ・4名の担当職員の内、3名は元法人職員、1名は成育保育園卒園児の保護者で、それぞれのスキルを発揮して利用者に関わり、利用者からは居心地の良さを感じている言葉が多く寄せられて口コミでどんどん広がっていったことがうかがえた。 ・年度末には転勤や子どもの入園等で4月から利用できないことを寂しがると同時にこの施設があったことを感謝して下さる方が大勢あった。</p> <p>○次年度に向けて ・今後もこの雰囲気大切にしながら、さらに地域のニーズに応じていけるよう情報をキャッチしていきたい。</p>
<p>病後児保育</p>	<p>都島友渕乳児保育センターのコメント欄に記載</p>

(4)子ども発達サポートステーション それいゆ

月別利用延べ園児数(通所支援事業就園児療育の状況含む)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
515	539	589	569	518	513	540	534	482	516	586	648	6,549

区別契約児童数(計37名)

都島	城東	鶴見	北	その他
14	8	6	4	5

職員数(保育所訪問支援・障害児相談支援事業含む)

施設長	正規職員							非常勤職員			合計
	主任 保育士 兼 児童発達支援 管理責任者	相談専門員 兼 訪問専門員 兼 保育士	心理士 兼 相談専門員 兼 訪問専門員	保育士	指導員	その他	計	常勤 並	短時 間	計	
1	1	1	1	7	1	0	12	1	3	4	16

平成29年3月31日現在

固定資産取得価格一覧

摘 要	金 額
療育室改修工事	750,222
駐車場・駐輪場工事	1,016,437
防犯カメラ工事	818,640
児童デイサービスせいのく改装工事	4,100,716
4 件	6,686,015

主たる修繕

看板貼替え
排水管洗浄
空調洗浄
遊具移設工事他

保育所訪問支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サービス利用者数	6	2	2	0	2	0	0	1	1	0	1	0	15

障害児相談支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サービス利用計画書作成・モニタリング件数	12	13	16	16	13	12	11	10	11	9	26	34	183

大阪市障がい児療育等支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サービス利用者数	0	0	7	0	0	0	3	1	0	1	0	0	12

コメント(こども発達サポートステーションそれいゆ)

平成28年度の事業目標として、『待機児童の受け入れ』『新人職員の育成』『大阪市障がい児療育等支援事業の取組』等を掲げた。

○取組み・成果について

- ・入園希望児が多く、特に3歳児の受け入れが厳しかったため、毎日の通園児以外に週2日通園の契約児を12名受け入て、定員30名のところ37名でスタートした。
待機児解消策として対応したが、週2日の園児の出席率が悪く、前年度に比べ延べ利用園児数が伸びなかった。また、リハビリ入院のため3か月間欠席した園児1名もその原因である。
- ・新人職員3名に対し、4、5、6月に療育についての園内研修で指導を行なった。
- ・平成28年度から、職員による個別療育から言語聴覚士での指導へと変更し取組む。職員のスキルアップも同時に図れるよう親子、担当職員が参加した。
- ・若手の職員が多い中で、新人指導や主担会議を頻繁に行うことで、大きなけがや事故に繋がることなく、療育を進める事が出来た。
- ・就園児療育は前年度までは年長児対象であったが、年度途中から年中児のクラスも始めた。一部送迎のサービスも行った。
- ・大阪市委託事業『大阪市障がい児療育等支援事業』を今年度から取組む。法人内保育園の気になる園児に対し訪問し生活面の改善や療育支援等を行った。保育所等訪問支援とは違い、施設間で連携をとりながら早期療育へ繋げることを目的とし、年間で12件の依頼があった。

障害児相談支援事業

平成28年度事業目標：「障がい児が、その有する能力、適性に応じ、自立した日常生活または、社会生活が営むことができるよう、その置かれている環境等に応じて、障がい福祉サービスなどが効率的に提供できるような支援」

○取組み・成果として

- ・2年前から新入園児は既に他の児童発達支援事業を利用しているケースが多く、受給者証をすでに取得しているため相談支援事業の初回加算が取得しにくくなっている。二人体制で対応しているため外部からの依頼は待機して頂き、順に取組むように努めた。

保育所等訪問支援事業

平成28年度事業目標：「障がい児が集団生活に適應することができるよう、障がい児の身体及び精神の状況並びに 環境に応じた適切な支援」

○取組み・成果として

卒園児の引き継ぎを目的とした訪問支援のほか、法人内の保育園に通われている肢体不自由児については継続的に訪問支援に取組む。昨年に引き続き作業療法士による訪問支援を行った。

○課題について

今後の課題としては、職員の業務の効率化・書類等の簡素化や専門職としてのスキルアップを図る。

(5)都島児童デイサービス

月別利用延べ園児数(児童発達支援-あっぷる)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
82	89	101	86	68	89	95	97	74	66	89	94	1,030

区別契約児童数(23名)

都島	城東	鶴見	北	その他
8	5	3	3	4

月別利用延べ園児数(放課後等デイサービス-れいんぼー)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
100	103	118	107	99	103	115	107	109	100	118	117	1,296

区別契約児童数(18名)

都島	城東	鶴見	北	その他
15	2	1	0	0

□

職員数(児童発達支援・放課後等デイサービス計)

正規職員								非常勤職員			合計
管理者	主任 保育士	児童発達 支援 専門員	心理士	保育士	指導員	その他	計	常勤 並	短時 間	計	
1	0	1	0	1	0	0	3	1	1	2	5

※ ()は相談支援専門員兼務 []は訪問支援員兼務 平成29年3月31日現在

主たる修繕・整備等

特になし

コメント

発達に遅れのある児童に対し身近な場所で療育を提供する。子ども達の持っている可能性を最大限に引き出すために、個々に合った療育の形で保護者と協力しつつ地域生活を支援する。

◎児童発達支援

平成28年度事業目標:「少人数のグループ療育指導等により、児童が自立した日常生活又は社会生活を営める様に個々に合わせた支援をする。」

○取組・成果として

昨年に引き続き今年度は、4月から契約児の獲得ができ、利用日数も伸びた。
親子で遊びを共有することで、親は子どもの特性を理解し接し方が深まり、いろいろな遊びの経験をすることで理解する力が伸びた。土曜日は、幼稚園、保育園に通われている園児を中心に、月2回の土曜療育を開始した。

◎放課後等デイサービス

平成28年度事業目標:「健常児との集団生活に適用することが出来るよう学習支援を柱とした個別療育を支援する。」

○取組・成果として

平成28年度は、前年度に引き続きの契約学童プラスそれ以外の就園児療育利用から繋がった児童3名でスタートした。学童児は欠席することが少ないため延べ利用数が前年度よりも伸びた。

2. 第二種社会福祉事業(高齢者)

(6) 友渕地域在宅サービスステーション ひまわり

職員数(パート含) ※ () は兼任数

	施設長	管理者	副施設長	生活相談員	看護職員	介護職員	介護支援 専門員	プランチ担 当者	その他	計
デイサービス	1		1	(1)	1(1)	10			3	16(2)
総合相談窓口業務(在宅介護支援)		(1)						1		1(1)
居宅介護支援(ケアマネジャー)		1					2(1)			3(1)
計	1	1(1)	1	(1)	1(1)	10	2(1)	1	3	20(4)

平成29年3月31日現在

◆ デイサービス事業

(延件数)

事業内容	25年度	26年度	27年度	28年度
定員(人/日)	35	35	35	35
通所介護延べ利用者数	7,809	7,824	7,239	7,090
通所介護加算内容	個別機能訓練加算			
	入浴加算	6,022	6,308	5,588
	サービス提供加算	7,809	7,824	7,239
介護予防通所介護延べ利用者数	723	801	478	540
介護予防加算内容	アクティビティ加算			
	運動機能向上加算	723	785	470
	サービス提供加算	723	801	478

◆ 総合相談窓口業務(在宅介護支援サービス業務)

	25年度	26年度	27年度	28年度
相談実績	783	1,306	1,419	1,589
内訳	来所	299	126	73
	電話	383	625	589
	訪問	101	555	621
	その他			136

固定資産取得価格一覧

摘要	金額
内装改装工事一式	3,508,290
こあがり畳台	461,823
書棚	544,737
デスクトップパソコン	149,040
ウォータベッド電源工事	203,040
5 件	4,866,930

主たる修繕(単価5万円以上)

- ・パソコンデータ復旧費用
- ・玄関自動ドア修理費
- ・自動車修理費(ラジエータ交換ほか)

○平成27年4月1日から、3年に一回実施される「介護保険制度の改定」と「介護報酬」の見直しが実施され、2年目の28年度においても依然環境は厳しい状況であることは、変わりなかった。

○そんな中であって、『心やすまる施設』『またいきたいと思える施設』『誰からも、心から喜ばれる施設』を目指し、職員の『接客研修』や『介護技術研修』等積極的に外部研修に参加し、その蓄積したノウハウと職員会議後に発表する要点、概要を吸収し、理解を深め、職員間での共通認識のもと介護予防の為、昼夜をわかつた業務の遂行に取り組んできた。

○また、当法人設立85周年をむかえ、利用者の『ふれあいルーム』を手狭な1階から2階へ変更する為、設立記念事業として、全面的な大改修を実施し、それ迄85㎡であったものを、182㎡とし、こがり畳の和室コーナー・機能訓練機器の新設・リラクゼーションコーナーをもうけ『明るく』『美しく』『広くカラフル』になり、新時代にふさわしく、こころ新たに再出発をした。

○一方、四季折々の季節感と古来からの伝統となっている各種行事も実施し、給食委託業者の協力を得て食事面においてもそれぞれ旬の献立で、フルーツなどの彩に加え、寿司パーティ・冬の鍋を囲む食事など利用者に喜んでいただける多種多様な食事メニューの提供を行った。

○同時に外の世界の季節感をあじわう機会として、桜観賞ドライブ、菖蒲園、遠足などと共に館内での夏祭り・運動会・敬老会・クリスマス会等の行事と共に多彩な生活を味わって頂き、ボランティアの方々による多種再々の演奏、沖縄三線に聞かせる午後のひとときなど家庭では味わえない時を過ごして頂けるよう、工夫と創意で楽しいデイの一日を満足して頂いた。

○書道、俳画教室、ヨガ、詩吟、カラオケ、カレンダー製作、機能回復訓練や脳活性トレーニングなど本来の趣旨である介護予防の為の各種学習作業に励み、大いに進展と効果をみたところである。

○巷間では、介護職場の処遇は一般サラリーマンに比べ低いとされてきた中、永年の懸案であった非正規職員の正規職員化を図り、職員にとっても安定した職場、安心して働ける職場、永く続けられる仕事としていかなければならないと考え、処遇の改善とキャリアアップの制度化を図ってきた。

○総合相談窓口業務の「友渕ランチ」は総合相談のべ件数年間600件以上の大阪市の評価基準を超え、年々件数が増えている。友渕地域老人会やシニア会に参加し総合相談窓口の周知や様々な情報提供をしている。また食事サービス「友渕ふれあいの集い」では「ひまわり通信」として講演会を定期的開催しているほか「友渕ゆめさろん」を毎月開催し、講演会を定期的におこない、地域に密着し気軽に相談できる相談窓口として周知が広まっているところである。

○高齢者虐待相談ケースでは都島区保険福祉センター及び北部包括支援センターとともにサービス調整会議に参加、多問題・支援困難ケースにおいては地域ケア会議を開催しランチの役割をになってきたところである。

(7) 特別養護老人ホーム ひまわりの郷

○短期入所生活介護事業（年間延利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用者数	321	372	344	361	359	324	338	356	343	389	327	276	4,110

○社会貢献事業

相談実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	1	1	2	3	1	0	1	2	1	0	2	0	14

コメント

社会貢献事業は、制度の狭間におられる要援護者に対して、相談活動をおこない必要に応じて経済援助を行い、自立生活を支援するものです。担当者をCSWと呼び、府下の特養から集められたで拠出金を財源に、生活レスキューのための給付も行います。

平成27年4月1日より、大阪市社会福祉協議会が各区役所に相談支援窓口を設置し、生活困窮者自立支援事業を実施されることになり、その窓口からの相談が大幅に増えました。支援の中には、生活保護につなげるまでの期間(概ね1ヶ月程度)の食糧支援や日用必需品の支援をしたものや、要援護者の能力に応じて費用を貸し付ける対応も行いました。

3. 公益事業

(1) 居宅介護支援事業

職員数(パート含む) ※()は兼任数 再掲

	施設長	管理者	介護支援 専門員	計
居宅介護支援	1	1	2(1)	4(1)

介護予防サービス計画(ケアプラン)対応延べ件数

	25年度	26年度	27年度	28年度
介護予防支援プラン	198	237	293	371
初回加算	11	13	15	14

介護サービス計画(ケアプラン)対応延べ件数

介護度	25年度	26年度	27年度	28年度
要介護1・2	570	609	682	622
要介護3・4・5	367	337	250	237
合計	937	946	932	859
初回加算	24	30	23	27
特定事業所加算	937	946	932	859
退院退所加算	0	1	1	4
認知症加算	175	176	0	—
独居高齢者加算	172	185	0	—
入院時情報連携加算	172	185	0	1
小規模多機能連携加算	172	185	0	1

コメント

平成28年度は、新しい職員体制のもと、地域包括ケアシステムの構築にむけて、地域で信頼されるケアマネージャーを目指し、ランチ・北部包括支援センター及び町内が開催しているサロン活動や家族支援事業などで、認知症サポーター養成講座の開催に協力を行いました。その事で地域住民の方々や町会長、老人会会長、民生委員の方々と顔なじみの関係を作ることができ、認知症高齢者の対応など地域ケア会議に参加頂き、相互に理解を深めることができたと考えます。また、予防の方を中心に包括ランチからの相談やケースも支援し、更に医療機関との連携にも取り組み、ターミナルケアの方の支援や訪問介護・主治医との連携に取り組んできました。

(2)ひまわりⅡ

介護予防サービス計画（ケアプラン）対応延べ件数

介護度	26年度	27年度	28年度
介護予防支援プラン	25	47	38
初回加算	3	5	1

介護サービス計画（ケアプラン）対応延べ件数

介護度	26年度	27年度	28年度
要介護1・2	211	151	167
要介護3・4・5	207	234	238
合計	418	385	405
初回加算	11	7	11
特定事業所加算	0	0	0
退院退所加算	0	0	0
認知症加算	133	0	0
独居高齢者加算	90	0	0

固定資産取得価格一覧

摘要	金額
なし	
0件	0

コメント

平成28年度も包括的高齢者介護事業としての役割を担い、介護支援専門員の力量を高め、公平中立・利用者本位の理念に基づき、より良いケアプラン作成し、信頼される事業所として、法人全体で目指す地域福祉充実に貢献することを目指しました。

◎平成23年11月に福祉ビルにケアプランセンターを開設し、5年が経過しました。地域の介護支援拠点としての周知され、信頼を得るようになってきました。平成28年は、開設以来のケアマネージャーの異動に伴い、引き継ぎ業務に追われることになりました。ケアマネ業務は、信頼関係を築くことが最も大切なため、経過把握等時間を必要であり、その事に集中することに時間を割き取り組みました。

◎平成27年介護報酬改定の影響で、認知症加算・独居加算が廃止され本体報酬に包括化され、報酬減が強いられました。その結果、平成27年は前年比▲¥343,136であったが、平成28年度は¥223,439増となった。近隣、有料老人ホームの利用者ケアプランの依頼等が報酬増に繋がった要因と考えます。

◎資質向上を図るため、外部研修参加及び研修講師

- ・シンポジウム「高齢社会を共に生きる」
- ・多職種連携のための口腔ケア研修会
- ・法人初任者研修「春期コース」講師

(3)比嘉正子地域貢献事業研修センター

職員数

正規職員(嘱託含む)	非常勤職員
相談員	
2	

子育て・障がい・介護なんでも相談室「ひまわりネット」

相談受付		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	電話	4	4	6	5	3	3	3	4	1		5	2	40
	来所	7	11	4	5	5	7	5	7	8	8	3	3	73
	家庭訪問	1	2	1		2	1	1		1		1	1	11

研修・講座

在宅子育て支援関係	27
社会福祉関係	4
職員(保育)研修関係	9
防災関係	1

災害支援(11ね!物産展)

実施回数	1回
支援先	熊本県益城郡 益城町社会福 祉協議会 155,082円

福祉人材登録

登録者数	21
雇用者数	2

固定資産取得価格一覧

摘要	金額
1階食堂エアコン・パナソニックCS-EX285C-W	237,000
PC(PB35RFAD4R7JD81)ダイナブック	129,168
ノートPC①富士通LIFEBOOKA576/PX	137,160
ノートPC②富士通A576/PX	128,520
4 件	631,848

主たる修繕

なし

コメント

<p>事業目的 すべての人が健康で文化的かつ快適な生活が守られ、豊かな人間生活が実現できる。</p> <p>事業目標 様々な問題を抱え苦しんでいる人たちに寄り添い、専門機関への橋渡し役となり、より敷居の低い地域の相談窓口として「心」の居場所づくりを目指します。そのためにも必要とされる知識・技法などを学び、コーディネート力を習得した人材育成(研修)を行い、地域の社会的資源となる。</p> <p>取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な相談内容:心の病気・不登校の相談が増加。連携機関との「個別ケース検討会議」を3回開催。 ・関係機関との連携⇒都島区要保護児童個別ケース会議;保護者の精神疾患とネグレクト問題 生活支援課:生活保護申請の援助、都島区虐待担当・子ども相談センター;子どもの救済 都島区子育てネットワーク会議参加、都島区社会福祉協議会:社会貢献事業 ・広報活動⇒ホームページ・facebook活用・チラシ配布するとともに、ひまわりネットの活動を発信。 ・人材育成として、大阪府民間社会福祉事業振興基金助成(アウトリーチ型研修助成事業)を受け テーマ「アウトリーチに必要な知識・技法を学び連携や支援のコーディネート力を養う」を11回実施。 ・在宅子育て家庭の育児支援講座等計36回開催。 ・「いいね文庫」それいゆの保護者や地域の児童、その他ロコミで増え、17時までは憩の場になり、登録者(本の貸し出し)も増加している。 ・敷居の低い居場所づくりの一環として、安心安全な給食ランチを提供する『ひだまり食堂』を週3回行い賑わっている。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「先が見えない」「終わりのない」相談、精神疾患や生活困窮の相談も増加し、相談者の自立支援に向け、専門機関との連携が広がり、深めることができた。 ・人材育成研修を受講しやすい時間帯、場所を設定したことで、多数の職員が受講することができた。 ・「ひだまり食堂」でセンターに人がはいたりやすくなり、高齢者や子育て中の親子の語らいの場所、相談の場所になってきている。 <p>課題 相談者が抱える問題が一つではなく重なり絡み合っていることが多く、聞き取りと内容を整理し、相談者が自力で解決できるように援助していくことが望ましい。専門機関との連携に相談される側のスキルを高める必要を感じる。 人材育成研修については、業務との兼ね合いと職員資質向上研修を精査していく必要がある。</p>

4. 収益事業

(1) 賃貸アパート(あやなす荘)

2～4階…賃貸住宅あやなす荘 (27室)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	参考(入退状況)
入居世帯	26	26	26	27	
空室	1	2	2	5	405号 H29.2退去 407号 H29.2退去

平成29年3月31日現在

特記事項

405号 平成29年2月 退去
407号 平成29年2月 退去
201号 法人使用中止

(2) 賃貸ビル(福祉ビル)

1階…(賃貸)遠藤クリニック、メディッシュフードサービス

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	参考(入退状況)
入居事業所(1階)	2	1	2	2	

平成29年3月31日現在

固定資産取得価格一覧

摘要	金額
311号浴室改修工事	881,842
210号浴室改修工事	909,742
310号居室改修工事	1,465,184
デスクトップパソコン	136,836
310号エアコン	123,321
5 件	3,516,925

主たる修繕

・バルコニー等防水排水管改修工事
・210号浴室前床板改修工事

コメント

収益事業の「福祉ビル」におきましては、(2階から4階部分については保育が使用しております。)1階につきましては、収益事業等の活用をしており、平成26年度4月1日から遠藤クリニック様が開院されています。その他、メディッシュフードサービスに賃貸しております。

「あやなす荘」におきましては、今後、住みやすい住環境の維持・改善を図っていき、建物老朽化による課題を踏まえた検討をしていきます。

5. 研修報告

≪人権研修≫

	主催者	研修日	研修タイトル	参加人数
児童・高齢施設	都島区区民センター	4/14	権利擁護のイロハ	1
	都島区社会福祉協議会	7/13	人権研修「同和部落の歴史」他	1
	大阪府社会福祉協議会	7/13	社会福祉施設連絡会職員研修「人権は守られているか」	7
		9/26	第2回さまざまな人権問題に関する研修会	5
	大阪市社会福祉施設人権活動推進連絡協議会	9/26	労働安全衛生法改正ストレスチェック制度と健康経営～働く人の人権を守り働きやすい環境をつくる～	2
	都島区社会福祉協議会	11/16	虐待が起こらない社会をめざして	1
	人権問題と企業啓蒙講座実行委員会	11/16	部落差別は今～情報ネット社会の中で～	1
	都島区地域包括支援センター	11/17	認知症の人の権利擁護と施設での虐待	1
	児童虐待防止研究集会	1/26	私たちは児童虐待にどう向き合うのか	1
	大阪市子ども青少年局	2/24	人権保育研修会「いじめについて」	1
法人内	毎月の施設長会議	法人及び各施設に関する人権について	12回	
	毎月の職員会議	施設に関する人権について	12回	
	役員会議開催毎	法人に関する人権について	12回	

≪役員研修≫

	主催者	研修日	研修タイトル	参加人数
外部	大阪府社会福祉協議会	6/8	社会福祉法改正の動向について	2
		11/12	社会福祉法改正対応セミナー	2
	林光行事務所他	8/2	改正社会福祉法対応緊急セミナー	2
		11/1	「定款変更と評議員選任の具体的な処理手順と事前準備」研修会	2
	大阪社会事業経営協会	8/30	夏季研修会「時代に響き合いつつ」	2
	日本の福祉を考える会	10/12	「障がい福祉の課題について」「介護保険部会の動向について」	3
		3/10	「保育士の処遇改善について」「技能実習制度への介護職種の追加等」について	1
	大阪ガス	10/13	環境省補助事業についての説明会	2
		2/15	時事セミナー	3
	監査法人彌栄会計社	2/18	「定款認可を受けて、Next Stageへ」	1

≪外部研修≫

	主催者	研修日	研修タイトル	参加人数
児童	全日本幼児音楽指導研修	4/2	先生のための「鍵盤ハーモニカ講習会」	2
	大阪社会事業経営協会	4/26	春季研修会「生涯活躍のまち」で描く地方創生	2
	大阪府障がい者自立相談センター	5/13.16.30	H28年度相談支援従事者専門コース 障がい児支援コース	1
	平多正於舞踊研究所	5/18	2016ヒラタ運動会・教育ダンス講習会	1
	全音楽譜出版社	6/12	幼児マーチング&CD鼓隊講習会	2
	都島区社会福祉施設連絡会	6/16	社会福祉法人制度について	2
		10/5	相模原市障がい者支援施設における事件から学ぶ	24
		11/22	大阪府放課後児童支援員等資質向上研修「支援を必要とする人々の現状」	8
	認定子ども園協会	6/16	全国認定子ども園協会大阪支部 平成28年度総会	1
		2/6	幼保連携型認定子ども園 教育・保育要領の改訂のポイント	1
ジャクエツ	6/18	子どもの体力・運動能力を高める保育教育に活かす運動遊び	4	
都島区保健福祉センター	6/24	平成28年度小学校栄養教育推進事業見学	3	
大阪私立幼稚園連盟	6/29	音楽遊びの指導法	1	
施設	大阪市立男女共同参画センター子育て活動支援館	6/30	平成28年度地域子育て活動者研修	1
	大阪市保育連合会	12/7	子どもシェルターの取り組み～少女たちの抱える背景とは～	1
		7/7.8	近畿ブロック保育研究集会大阪大会	4
	大阪発達総合療育センター	7/14.21.26	重度心身障がい児・者医療的ケア研修	1
		10/5	重度心身障がい児・者医療的ケア研修	1
	私保連施設長研修	7/12	社会福祉法人新制度研修	1
	大阪市	7/22	離乳食研修会	1
	近畿社会福祉法人経営青年会	7/22	地域における公益的な取り組みと実践 他	2
	全国社会福祉法人経営者協議会	7/27	社会福祉法人改革からこれからの保育事業経営について考える	1
	大阪市私立幼稚園連合会	8/5	遊びの展開と実際	1
8/30		防災教育	1	
9/5		音楽活動	1	
10/14		楽しい音楽活動	1	
ひかりのくに(株)	8/1	2016夏の講習会	4	
西日本幼児音楽研究会	8/9.10	幼児音楽教育夏期講座	4	
公益財団法人大阪特別支援教育委員振興会	8/11	夏期障がい児保育講座	2	

	主催者	研修日	研修タイトル	参加人数
児	幼児造形教育連盟	8/19.20	「かきたい！つくりたい！それは生きる喜び生きるエネルギー」	2
	松野公認会計士事務所	9/23	改正社会福祉法について	1
	応研㈱	10/7	給与大臣セミナー	2
		11/15	年末調整セミナー	2
	都島区子育てネットワーク会	10/27	都島区における子育て状況や今後の課題等について	4
	福祉と人権の研修ネットワーク	11/8	感染症予防対策講習会「冬季の感染症対策」	1
	大阪労働局	11/9	障がい者雇用促進セミナー	1
	厚生労働省	10/21	H27年度乳幼児栄養調査結果に見る現状と今後の支援の方向性	1
		11/18	アレルギー疾患講習会	1
	全国社会福祉法人経営青年会	11/21.23	社会福祉法人制度改革のポイントについて 他	3
	大阪市保育連合会	11/28	発達障がい児の理解と対応・就学までにやっておきたいこと	2
	日本ソーシャルワーク学会	12/3.4	2016年近畿地区初級保育ソーシャルワーカー認定講習	4
	都島区自衛消防協会	12/7	普通救命講習会(AEDを用いた心肺蘇生)	3
	一般社団法人京都社会福祉会	12/17.18	社会福祉士実習指導講習会	1
	感覚統合療法の理論と実践	1/14.15	感覚統合療法入門講習会 基礎コース	1
	栗谷会計事務所	1/30	福祉充実財産の算定、28年度決算への対応	2
	京都府社会福祉法人青年経営会	3/9	定例勉強会「生活困窮問題」「人材確保」	2
	大阪府	3/23	平成28年度幼保連携型認定こども園教育・保育要領研修会	2
	日本保育協会大阪支部	5/17	防災に活かせる食育	2
12/5.13		平成28年度乳児保育 保育士研究会「乳児と遊びと生活」	1	
大阪府社会福祉協議会	5/16～9/2	地域貢献支援員(スマイルサポーター)養成研修①～⑦	2	
	9/8	地域貢献支援員養成研修(スマイルサポーター)養成講座フォローアップ	2	
	9/12～2/3	地域貢献支援員(スマイルサポーター)養成研修⑧～⑩ 研修第二期①～⑤	2	
	12/19	スマイルサポーター施設長研修	1	
施	大阪市私立保育園連盟	5/17	家庭支援	1
		5/18.6/17	第1.2回乳児保育研修会「あそびが育てる子どもの力～発達をふまえた丁寧なかかわり～」	8
		5/23	第1回障がい児保育研修「気になる子どもの発達と特性の理解」	3
		6/28	子ども支援の意義と実際	2
		7/12.9/13	第3.4回乳児保育研修「あそびが育てる子どもの力～運動あそびを通して～」	9
		7/19	第2回障がい児保育研修会「豊かな関わりを育むために」	4
		7/29	第1回安全管理研修会「子どもの発達と事故(乳児編)」	3
		8/2	家庭支援研修	2
		9/2	第2回安全管理研修会「子どもの発達と事故(幼児編)」	2
		9/6	子どもの心の発達について	1
		9/8	第3回障がい児保育研修会「事例検討」	3
		10/14	第3回安全管理研修会「子どもを預かる施設の深刻事故予防」	1
		11/4	0.1.2歳の生活「子ども一人ひとりを大切に」	2
		11/15	家庭支援研修会	1
		12/1	第4回障がい児保育研修会「気になる子どもの保護者支援について」	1
		1/26	小児保健研修会「子どもの目と健康について」	2
		1/31	第4回安全管理研修会「子どもの事故から学ぶ 安全な保育をめざして」	2
		2/2	主任保育士研修会「事例検討～職員間のエピソードを中心に～」	1
		設	大阪市こども青少年局	4/15
5/10.13	幼児食育講座			2
5/26	平成28年度保育部総会記念講演「社会福祉法人の行方」			1
6/1.7/11	保健研修「2015年改訂版子どもの保健」説明会			4
7/13	家庭支援研修会「コミュニケーション力について」			1
7/19	障がい児保育研修会「ともに育つ保育とは」			1
7/21.8/25	就学前教育カリキュラム研修会			7
7/27	乳児保育研修会「ごっこ遊びの楽しさと環境作りについて」			1
9/13	放課後児童支援員等研修会①「都市大阪における災害の備え」			6
9/29	子どもの健康・安全研修会「保育施設における看護師の役割」			3
11/1	大阪府放課後児童支援員等資質向上研修①「子どもとの関わり方」			5
11/24	施設長研修「教育・保育施設等における個別配慮や対応について」			2
11/30	大阪府放課後児童支援員等資質向上研修②「保護者との連携と支援機関」			1
12/6	大阪府放課後児童支援員等資質向上研修③「障がいの理解と対応」			1
12/15	大阪府放課後児童支援員等資質向上研修④「子どもの発達と理解」			1
1/30	障がい児保育研修会「発達障がいについて」			1
2/2	平成28年度大阪市地域子育て支援拠点事業 第4回担当者研修会			1
2/7	大阪市放課後児童支援員等研修会③「あそびを通じての人間関係づくり」			2
2/8	障がい児保育研修会「見える力・伝える力」			1
2/27	子どもの健康・安全研修会「保育施設における安全管理について」			1
3/22	病児・病後児保育事業担当者研修会	2		

《沖繩》

	主催者	研修日	研修タイトル	参加人数
法人内	渡保育園・松島保育園	4/2	安全、安心、快適、愛情いっぱいの保育園を目指して 虐待・ネグレクトの対応について 個人情報など職務上知った秘密を守ることの重要性 法人の成り立ちと創設者の思いについて	31
		11/19	子どもの発達と気になる子について 福岡県での事故をふまえての安全性について	31
	渡保育園	9/30	アレルギーの事故防止について	16
		3/30	今年度の保育の振り返り	17
	松島保育園	9/29	アレルギーの事故防止について	15
外部研修	那覇市こどもみらい課	7/5	食物アレルギーを正しく理解しよう	4
		9/7	事故防止～保育環境とリスクマネジメント～	4
		11/22	子どもの理解と関わり方	6
		11/29	保育所の役割～苦情対応説明と保育者の関わり方～	6
		2/25	アレルギー対応について(調理員研修)	1
	沖縄県社会福祉協議会	1/28	第44回沖縄県保育研究大会	5
		1/29	保育研究大会分科会	5
	沖縄県私立保育連盟	2/17	沖縄県保育研究大会	5

《高齢者施設》

	主催者	研修日	研修タイトル	参加人数
外部研修	大阪府福祉人材センター	4/20	平成28年度新人職員のためのサービスマナーセミナー	3
		6/7	平成28年度 第1回感染症食中毒予防対策講習会	1
		11/8	平成28年度 第2回感染症食中毒予防対策講習会	1
	関西看護ケア研究会	5/14	看護実践セミナー	1
	大阪市福祉局法人監理	5/25	食中毒について	1
	大阪市社会福祉研修・情報センター	5/10	H28年度 総合相談窓口(ランチ)担当者研修	1
		6/13	防災(災害時の栄養士の役割)	1
		7/13	ストレスマネジメントを学ぶ	1
		8/23.30	H28年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修(リーダーコース)	1
		9/7	平成28年度「大阪市認知症介護基礎研修」	1
		9/23	リスクマネジメント研修(一般職員)	1
		10/11	リスクマネジメント研修(リーダー)	2
		11/18	成年後見活用法	2
	2/13	前頭側頭型認知症研修	1	
	中央福祉学園	4/16～18	H28年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修(指導者コース)	1
	梅田公共職業安定所	6/8	公正採用選考人権啓発セミナー説明会	1
	大阪府社会福祉協議会	6/8	社会福祉施設長研修会	1
		7/28	平成28年度保健師看護師研修会「精神疾患について」	1
		8/2	平成28年度「福祉レクレーション研修会」	1
		8/19	平成28年度栄養士調理師研修会	1
10/3.11/11.11/12		平成28年度大阪しあわせネットワーク コミュニティソーシャルワーカー養成研修会	1	
11/29		いずみ野福祉見学会	1	
2/6		平成28年度大阪老人福祉施設研究会大会①	1	
2/28		キャリアパス対応生涯研修	1	
3/1	平成28年度大阪老人福祉施設研究会大会②	1		
大阪市老人福祉施設連盟	6/13.10/20.12/7	平成28年度特別養護老人ホーム栄養士学習会	1	
	6/15	口腔ケアの支援	1	
	6/20.7/4	新人職員対象介護技術研修会	2	
	7/6 他3日	平成28年度 ケアマネージャー学習会	1	
	8/8	食中毒発生時の対応について	1	
	8/25	熊本地震災害の実態	1	
	11/1	防火研修会消防法施行令等の一部改正からみる火災予防対策	1	
	11/9	災害時相互応援協定第3回実動訓練	2	
	11/30	都島旭区災害時相互応援協定振り返り検討会	1	
	12/8	調理実習	1	
NPO介護保険市民オンブズマン	7/23	平成28年度職員研修「車いすのフィッティングとシーティングを考える」	2	
都島区在宅医療運営協議会	8/27	介護連携推進の課題	1	
ホシザキ株式会社	8/31	高齢者ソフト食の重要性について	1	
株式会社ニッソーネット	9/5.10/3	平成28年度身体拘束ゼロ推進員養成研修	1	
大和ハウス工業株式会社	9/22	ロボットスーツHAL説明会	2	

	主催者	研修日	研修タイトル	参加人数
外部 部 研 修	全国社会福祉協議会	9/28.29	社会福祉法人経営者研修会～経営管理コース～	1
	都島区社会福祉施設連絡会	10/5	相模原市障がい者支援施設における事件から学ぶ	2
	大阪介護支援専門協会	10/5	相談援助のためのプランニング	1
	大阪府介護情報研修センター	10/5	自立支援型ケアマネジメント	1
	福祉を考える会	10/12	高齢福祉の動向	1
	大阪市地域福祉施設協議会	10/18	なんでも話そうなんでも聞こう～大地協トークセッション研修会	1
	北部包括支援センター	10/19	大規模災害から考える要支援者の支援	1
	大阪市社会福祉施設連盟	10/20	アセスメント栄養指導リスク管理について	1
		11/4	感染防止対策、蔓延する冬に備えて～インフルエンザ・ノロウイルス対策～	1
		11/25	社会福祉法人改革と社会福祉事業の経営管理	1
	都島区休日急病診療所	10/22	在宅介護・介護連携推進事業研修会	1
	都島区社会福祉協議会	11/22	支援を必要とする人々の現状	2
	大阪市立総合医療センター	11/2	糖尿病と認知症の気になる研修	1
		12/11	若年性認知症専門職研修	1
	社会福祉振興試験センター	11/7～11	平成28年度第3回民間社会福祉施設特別養護老人ホーム介護職員合宿研修	1
	大阪府委託研修事業	11/8	感染症予防対策講習会	1
	大手前病院	11/15	在宅支援の『和』	1
	全国社会福祉法人経営青年会	11/22～23	乗り越える勇氣	1
	キャンシステムサポート会社	11/29	人材確保のためのキャリアパス作成運用及び就業規則の見直し	1
	都島消防署	12/7	普通救命講習	2
ケアテック関西2016	12/8	介護ロボット等	3	
大阪府栄養士会日本栄養士会	12/17	植物油に関する基礎情報他	1	
大阪府内建築行政連絡協議会	1/27	建築基準法定期報告制度改正説明会	1	
(株)ウィズ	2/18	高齢者虐待の原因と対策	1	

《法人内研修》

	担当(部会)	研修日	研修内容	参加人数
児 童	各園	4/2	都島友の会 職員ハンドブック	31
		4/11	乳児の食べさせ方(ゼリー・コップ)	21
		5/19	理事長講話	8
		7/8	消防隊による心肺蘇生・救命講習	19
施 設	都島友の会・コスモス会	4/13	元大阪市議員 船場先生のお話	4
	看護師連絡会	5/27.6/24	看護師研修 ケガの対応・アレルギー・予防接種・発熱について	27
高 齢 者 施 設	都島友の会	7/28.29	映画鑑賞「いいのおとうさん ありがとう」	37
		8/23.12/7	救命救急講習	20
		10/17	表現研修「技術面の実践研修」	23
		10/25	それいゆ見学研修	3
	都島友の会主任研修	8/17	乳児保育マニュアル①	41
		9/12	乳児保育マニュアル②	22
		10/17.11/15	障がい児保育「インリアルアプローチ」	15
		10/26	障がい児研修～それいゆの保育から見て学ぶ～	2
ひまわりの郷	11/15	表現するってどんなことだろう	15	
	7/3	第1回感染症対策研修	13	
	9/6	第1回外部研修発表会	15	
	9/9	褥瘡予防対策職員研修会	13	
	12/9	第2回感染症対策研修	13	
比嘉正子地域貢献事業 研修センター	3/3	第2回外部研修発表会	30	
	4/14	地域に新しい「支え合いのかたち」を創造する	68	
	5/17	配慮が必要な保護者への対応①	52	
	6/27	配慮が必要な保護者への対応②	51	
	7/6	社会福祉の歴史	57	
	7/13	子どもたちとのかかわり方	40	
	8/2	ふれあい運動あそび2016	37	
	9/27	里親制度の実態	40	
	10/21	防災・減災	34	
	11/8	都島区における乳児の実態と食事について	30	
	11/29	子どもの支援①	38	
	12/6	絵本を楽しむ	35	
12/13	子どもの支援②	31		

担当(部会)	研修日	研修内容	参加人数
比嘉正子地域貢献事業 研修センター	1/20	ウェルネス冬の運動プログラム	35
	2/21	介護の現場からツタエタイコト	30
	2/23	都島区子育て支援の実態、連携について	8
	8/16.11/18	在宅支援 勇気づけ講座	22
	年間	在宅支援 しろくまヨガ・ベビーマッサージ	163
	5/9～7/15	介護職員養成初任者研修(春コース:39講義)	6